



JKS

一般社団法人

日本膝関節学会

No.1

2024年4月30日発行

ニュースレター

理事長挨拶

神戸大学大学院整形外科 黒田 良祐



2023年6月に日本膝関節学会 (The Japanese Knee Society : JKS) が発足しました。膝関節外科に関連する研究会・学会にはとても長い歴史があり、多くの偉大な先生方により築きあげられてきました。特に高木憲次先生、渡辺正毅先生を中心として日本で開発された関節鏡の歴史はそのまま世界の膝関節鏡の歴史でもあります。1974年、渡辺正毅先生が国際関節鏡学会の初代会長に就任され、「Father of Arthroscopy」の称号が与えられ、同年12月に日本膝関節研究会が産まれました。そこから25年間は紆余曲折の道のりがありました。学会化を避け、閉鎖的な時期があったことも事実です。しかし、この会こそが若手医師への教育を行うべき、もっとOpenにするべき、もっと世界へ目を向けるべき、という機運が徐々に高まり、2000年に日本膝関節研究会と東京膝関節研究会・学会が統合し日本膝関節学会が設立されました。そして2009年に日本膝関節学会と日本関節鏡学会が発展的に統合され日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) が誕生しました。JOSKASは膝関節、関節鏡、スポーツ整形外科を牽引してきたいくつかの学会や研究会の流れを持つ、歴史を有する学会と言えます。ところが、ここで膝関節を深く議論する場が少なくなったのも事実であります。JOSKASの14年間の歴史の中で、

徐々に膝関節のみを純粹に熱く議論する場を求める声が高まってまいりました。そして、2023年6月、再び日本膝関節学会が設立されました。本学会は膝関節に関わる調査研究及び発表並びに膝関節に関する他団体との連絡・連携をはかり、膝関節に関する学問の進歩普及に貢献し、もって人類の健康と福祉の増進に寄与することを目的としております。2023年12月に第1回日本膝関節学会が岡崎賢会長 (東京女子医大) 主催によりテーマを“REBORN”として横浜で開催され、2,400人近くの先生方が参加し、成功裏に終わりました。第2回は眞島任史会長 (日本医大) のもと沖縄で、第3回は2025年12月に私が姫路で開催させていただく予定です。研究助成、国内fellowship、海外学会とのexchange fellowship、関節鏡技術認定のためのJKS cadaver seminarなども開始します。多くの先生方のご応募をお待ちしております。さらにOfficial journalであるJournal of Joint Surgery and Research (JJSR) へ是非、皆さんの研究成果を投稿してください。日本膝関節学会の50年の歴史と伝統を継承し、未来に向けて本学会の発展に尽力いたします。会員の皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

第1回日本膝関節学会 開催報告



会長 岡崎 賢

東京女子医科大学整形外科学分野 教授・基幹分野長

2023年12月8日・9日に横浜市パシフィコ横浜ノースにて第1回日本膝関節学会学術集会を開催いたしました。学会のテーマは「REBORN」としました。生まれ変わったことを意味する語ですが、単に復活することを表すだけでなく、「苦難から立ち直り、新たなスタートを切ること」や「物事や人間の心が新たなステージに進むこと」を指す際にも用いられるそうです。私はこの言葉に新しい学会が更なる飛躍を遂げることと同時に、今まさに飛び出して羽ばたこうとしている次世代若手研究者たちの飛躍も応援する学会にしたいという思いを込めました。学会ポスターのデザインも若手研究者がはじけ飛ぶことをイメージしています。(図1)



図1

学術集会のプログラムは全国で活躍している各専門分野のリーダーをプログラム委員として委嘱し、アイデアを出して頂きました。その際に講師やシンポジストは重鎮だけでなく、なるべく次世代の若手で頑張っている人を選んでほしいとお願いしました。若手が活躍する学会に貢献出来たかと思います。

第1会場のセッティングは1000人収容の大会議室を横使いにし、中央の演題の背景にはスクリーンを置かずに綺麗な青色光ドレープにすることで晴れ舞台の写真映えがよくなるようにしました。(図2) 大型スクリーンは両サイドに配置し、演者・座長が見るスクリーンは反対側の壁掛けにすることで、演者の発表中の顔が上がって会場を向くような視線になることで、講演中の映えが更によくなるようにしました。講演中の姿勢や目線も聴衆に訴えるツ-



図2

ルとして重要なことを体現してもらいたいという気持ちからです。

ディベートセッションも盛り上がりました。ACL、TKA、骨切りなどのそれぞれの分野で議論が分かれるテーマについてそれぞれの立場でプレゼンテーションをしていただき、スマホを用いたリアルタイムアンケートによって即座に聴衆の意見を集約する仕組みを取り入れました。

海外からは10名の講師をお招きし、最新の情報を提供してもらうとともに国際交流にも役立ててもらいました。(図3)

2日間というタイトスケジュールで聴けない演題も多々あり、課題もあったかと思いますが、皆様のおかげで終えることができました。重ねて感謝申し上げます。



図3

Debate session

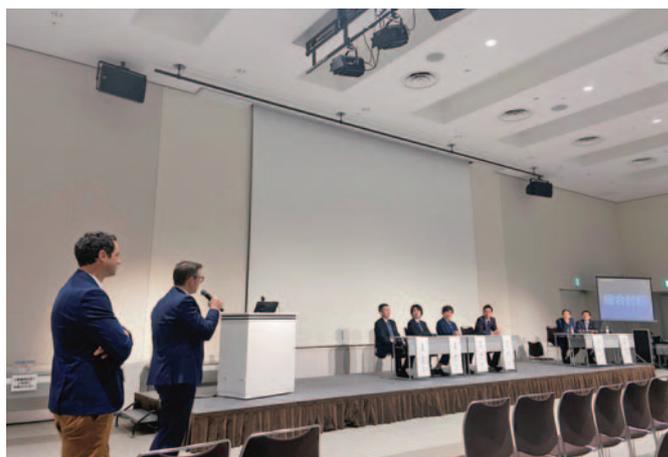
東京女子医科大学整形外科 桑島 海人



今回の学術集会では、人工膝関節、ACL再建、膝周囲骨切り術の分野で「Debate session」を設けました。普段の臨床現場で疑問に感じている点や世界における潮流をテーマに、各分野のプロフェッショナルによる熱い討論が繰り広げられました。

また、今回は会場の先生方にもスマートフォンを使ってリアルタイムにアンケートに回答してもらって聴衆参加型を導入しました。結果もリアルタイムでモニターに表示され、膝関節に関わる先生方の生の意見が分かったり、討論の前後で回答の割合が変化したりと、とても有効なツールだと感じました。

全国教室ディベート連盟によると、Debateの定義は「ある特定のテーマの是非について、2グループの話手が、賛成・反対の立場に別れて、第三者を説得する形で議論を行うこと」とされています。日本ではこのような形式にまだ馴染みが薄く、討論の方法など改善点もあると思いますが、今後もこのようなsessionで活発な討論が続いていく事を願っています。



運営の際の裏話、会長招宴、全員懇親会

東京女子医科大学整形外科 伊藤 匡史



この度、第1回日本膝関節学会の事務局を務めさせていただきました東京女子医科大学整形外科の伊藤匡史と申します。通常学会といえばアプリをダウンロードという“受けのスタイル”ですが、主催者側に回るとプログラム作成、その割り振り、座長の選定など“攻めのスタイル”が要求されます。700以上の演題登録を頂き、それらの査読や座長依頼を200名強の評議員の先生方をお願いすることになりますので、必然的に一部の先生方には妙に多い査読数や座長の任をご負担頂くことになりました(過度の攻めのスタイルだったと反省しております)が快くお引き受け頂き大変感謝申し上げます。参加者の先生方、運営企画にご尽力頂きました株式会社メイプロジェクト様、東京女子医科大学整形外科の同門会員の皆様、企業の皆様方のお力添えにより学術プログラムはもちろん、会長招宴(写真1,2)、全員懇親会(写真3,4)も大変な盛況でした。この度はありがとうございました。



写真1 会長招宴での会長挨拶



写真2 会長招宴での催し(歌舞伎実演)



写真3 全員懇親会での催し(書の実演)



写真4 全員懇親会での東京女子医科大学整形外科医局員

第1回日本膝関節学会 受賞者コメント

優秀ポスター演題賞

骨端部に発症し、膝関節軟骨を穿破した Brodie 膿瘍の小経験と短期経過

宮崎大学 医学部 整形外科 森田 雄大

この度は第1回日本膝関節学会での大変名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。今回症例報告での受賞ではありませんが、若年者の Brodie 膿瘍に対する治療方針の一助となれば幸いです。この場をお借りして御指導・御協力いただいた帖佐悦男先生、田島卓也先生をはじめ、宮崎大学整形外科の先生方に厚く御礼申し上げますとともに、本発表を評価していただきました選考委員の先生方に深謝いたします。



人工膝関節置換術後に生じた関節内血腫に対して経カテーテル的動脈塞栓術を行った1例

曾於医師会立病院 整形外科 大西 啓志朗

この度は大変名誉ある賞に選出いただき、誠にありがとうございます。ご指導いただきました谷口昇教授、中島隆之先生、佐久間大輔先生をはじめ、鹿児島大学整形外科の同門の先生方、またご選考いただきました先生方に感謝申し上げます。今回保存治療抵抗性の人工膝関節置換術後に生じた反復性膝関節内血腫に対して経カテーテル的動脈塞栓術が奏功した症例を報告しました。今回の受賞を励みに今後の診療・研究に取り組んで参りますので今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



膝内側半月板後根断裂に対する薄筋腱を用いた修復術 — preliminary report —

福岡整形外科病院 松田 匡弘

この度は大変名誉ある賞に選出いただき、誠に光栄に存じます。また選考にご尽力いただいた先生方に深謝いたします。本研究は癒合不良な MMPRT 前方部に注目し、薄筋腱を用いて再建することが目的で、その短期成績が良好であることを報告しました。また今までの MMPRT 修復術における手術手技のポイントも再考しましたので、治療の一助になりましたら幸甚です。この場をお借りして、ご指導いただきました王寺先生、九州大学整形外科同門の先生方、日常診療にて共にデータを集めた共著の先生方に陳謝いたします。今回の受賞を励みに多彩な膝関節診療に励んで参りますので、今後とも何卒宜しくお願いたします。



優秀演題賞

伸展時の前後位置が人工膝関節動態と患者満足度に与える影響

大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学 (整形外科) 玉城 雅史

この度は、第1回日本膝関節学会において大変名誉ある賞を受賞させて頂き、誠に光栄に存じます。本研究は、大阪大学が長年取り組んできた人工膝関節動態解析と患者満足度の関係を調べたものです。研究のご指導をいただきました富田哲也先生をはじめ、大阪大学整形外科同門の先生方、研究を一緒にさせていただいています東京大学整形外科の先生方、また御選考頂きました先生方にこの場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。



BCSのインプラントはParadoxical anterior motionを制限する — Navigationを用いたPS-TKAとBCS-TKAの術中kinematicsの比較 —

徳島県立三好病院 整形外科 新田 晃弘

この度は名誉ある賞を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。第1回の節目となる日本膝関節学会の優秀演題賞に選出して頂けたことを誠に光栄に思います。当院では、2020年に高度先進関節脊椎センターを開設し、センター長である大歯先生のもと Navigation TKAの臨床データを集積し受賞に繋げることができました。ご指導下さった徳島大学の同門の先生方に厚く御礼を申し上げます。現在は Robot TKA・UKA を行っており、今回の受賞を励みに今後も研鑽に努めたいと思います。



同種滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織を用いた第III相膝関節軟骨再生臨床試験

関西福祉科学大学 保健医療学部 下村 和範

この度は大変名誉ある賞を受賞させて頂き、心より感謝申し上げます。本発表では、大阪大学整形外科が開発致しました間葉系幹細胞を用いた軟骨再生治療の第III相臨床試験の結果についてご報告させて頂きました。沢山の先生方に支えられた研究成果であり、この場をお借りして、研究のご指導を頂きました中村憲正先生、大阪大学スポーツクリニックの先生方、臨床試験にご協力頂きました全国の先生方に厚く御礼申し上げます。



外側半月板中節の横・弁状断裂に対する半月板縫合術後3ヶ月時の再鏡視所見

守口敬仁会病院 整形外科 武田 和樹

この度は大変名誉ある賞を受賞させて頂き誠にありがとうございます。本研究は外側半月板横断裂縫合術後3カ月時点での半月板の治癒状態を関節鏡で評価し、その治癒過程と再鏡視時の追加処置の必要性に関して考察した論文であります。この場をお借りして研究のご指導をいただいた武靖浩先生をはじめ共著者の先生方、本研究を選考いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。



役員挨拶

副理事長

石島 旨章

順天堂大学大学院医学研究科
整形外科・運動器医学



新たに設立されました日本膝関節学会において、黒田良祐理事長より副理事長の職をご指名いただきました順天堂大学大学院医学研究科 整形外科・運動器医学(順天堂大学医学部整形外科講座)の石島旨章と申します。大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いでございます。日本膝関節研究会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)設立前の日本膝関節学会、そしてJOSKASという歴史のなかで、先人の先生方が築いてこられた本邦の膝関節疾患に対する臨床および研究の歴史を深く理解するとともに、国民の健康増進に寄与し、かつ世界に飛躍できる次世代の若手の臨床家および研究者を育成できるシステム作りが求められていると考えております。松田秀一副理事長とともに黒田理事長をお支えし、この実現に努力していく所存でございます。会員の皆様方のご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

松田 秀一

京都大学大学院医学系研究科
整形外科学



このたび、新しく設立されました日本膝関節学会の副理事長を拝命し、大変光栄に存じております。日本膝関節学会は、膝関節に関する基礎研究、保存療法、関節鏡手術、骨切り術、そして人工膝関節など幅広い分野をカバーする学会となっております。欧米のように関節鏡や人工関節という軸で学術的な討論を行うことも重要ですが、膝関節という視点から様々な議論を行うことは日本独自と言ってもいい形であり、新たな知見を世界へ発信していくことが必要と思ひます。学会としても膝関節に関する研究がより発展するように様々な企画を行っていき、特に若い先生方が、膝関節の診療、研究に興味を持ってくださることを期待してあります。最後になりますが、日本膝関節学会の英文official journalでもあるJournal of joint surgery and researchへの投稿もお待ちしています！

理事

安達 伸生

広島大学大学院医系科学研究科
整形外科学



このたび、日本膝関節学会の理事を拝命し、大変光栄に存じております。将来構想委員会を担当致しますのでよろしくお願ひいたします。今回、JOSSMとJOSKASが発展的に再構築され、日本膝関節学会が設立され新しい船出となりました。本学会のルーツは約50年前に設立された日本膝関節研究会、日本関節鏡学会であり、その後の学会再編を経て現在に至る大変長い歴史を持つ学会です。

日本膝関節学会では、膝関節に関する学問の進歩普及に貢献することを目的としており、具体的には学会活動を通じた膝関節外科研究の推進とともに国際的な協調活動、今後の学会を担う若手膝関節外科医の育成などの重要な役割があります。私が担当する将来構想委員会ではこれらの目的を達成するために他の委員会と連携、協力しながらsustainableな学会の将来を議論していきたいと思ひます。会員の皆様にはご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

池内 昌彦

高知大学医学部整形外科



日本膝関節学会の理事を拝命しました高知大学の池内昌彦でございます。2023年6月に誕生した本学会の設立時理事として重責を担うこととなり、その使命と責任の大きさに身の引き締まる思いです。

本学会は、長い歴史をもつ日本膝関節研究会、(旧)日本膝関節学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)の流れを汲む学会です。私はこれらの学会および研究会で膝関節に関する多くのことを学び成長させていただきました。今後は、次世代を担う若手医師が成長し活躍する場としての学会運営に尽力して参りたいと考えております。昨今、似たような学会や研究会が乱立し分かりにくくなっていますが、本学会は「膝」に特化して議論する場であり単純明快です。本学会が膝関節を専門とする医師にとって必要不可欠な学会に発展し、互いに切磋琢磨していくなかで日本の膝関節医療がさらに発展していくことを願っております。

岡崎 賢

東京女子医科大学整形外科
教授・基幹分野長



新しく生まれ変わる日本膝関節学会の発足にあたって、初代の理事を務める重責を深く感じ、身が引き締まる思いです。新しい学会がどうあるべきか、先輩連が大変な苦勞をして築き上げたJOSKASからの再出発がどのような意義をもつのかについて常に考え、皆で議論しながら、より発展を遂げていく学会運営に貢献していきたいと思っております。また同時に、第1回学術集会の主催も務めさせていただきました。大変光栄に思い、新しい学会に相応しい会にしようと思ひ一杯準備して臨みました。学会員の皆様から沢山の演題応募とご参加をいただき、国内外の著名な講師による素晴らしい講演と活発な議論のおかげで、成功裏に終えることが出来たと思っております。改めましてご助力くださいましたすべての方へ熱く御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

古賀 英之

東京医科歯科大学大学院
運動器外科学分野



このたび、日本膝関節学会(JKS)の理事に就任させていただくことになりました東京医科歯科大学運動器外科学の古賀でございます。私はこれまでJOSKASにおいて国際委員会の理事を務めてまいりましたが、その経験をもとにJKSにおいても国際委員会の担当理事を拝命いたしました。これまでJOSKASが築き上げてきた国際交流を発展させ、日本の膝関節外科の国際的なプレゼンスをさらに高めていきたいと思ひます。また併せて社会保険委員会の担当理事も拝命いたしました。就任早々、2024年度診療報酬改定において、大腿骨遠位骨切り術と関節鏡下半月板制動術が新規規式として認められ、これまでの関係諸先生方のご尽力に深謝いたします。JKSの発展に貢献していきたいと思ひますので、会員の皆様にはご指導ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

武富 修治

東京大学大学院医学系研究科
整形外科学



このたび、日本膝関節学会の理事を拝命し、大変光栄に存じます。新学会立ち上げ時の理事ということで責任の重さを実感するとともに身の引き締まる思いです。本学会ではガイドライン策定委員会および用語・機能評価委員会の担当理事、将来構想委員会の委員などを担当させていただきます。日本膝関節学会は、久しぶりとことん膝関節について語り合える学会です。本学会が将来の日本の膝関節外科を担っていく先生方が活発に議論し、世界へと羽ばたいていく場となるよう微力ながら尽力させて頂く所存です。会員の皆様にはご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

出家 正隆

広島市民病院



この度 日本膝関節学会の理事を拝命いたしました出家正隆です。本学会の理事を拝命して大変光栄に存じます。日本膝関節学会では、教育研修委員会を担当させていただきます。形の上では、新学会として新たなスタートとなる本学会ですが、日本の膝関節研究会・学会の歴史は古く、先達の先生方は世界をリードして来られていました。本新学会はこの歴史を踏襲し、日本からの世界への発信が益々増えるように貢献し、本学会の発展に貢献したいと思っております。その中で、教育研修委員会は若手育成をはじめとして、教育・臨床・研究の分野で中心的な役目を果たすものと考えています。世界に発信するとともに会員の皆さんの日常診療に貢献できるような教育研修システムを考案していきたいと思っております。大学から一般病院に移りましたので、市中病院の視点からも、本会の発展に寄与できるよう精進いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

中村 憲正

大阪保健医療大学



このたび、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) の理事を拝命し光栄に存じます。私は膝関節温存を目指した機能再建のための臨床と基礎研究に従事して参りました。特に生物学的な運動器修復、再生医療の分野に力を入れております。本学会での理事就任にあたり、広報・ニュースレター委員会担当理事を務めさせていただきます。学会再編により JOSKAS から膝関節に特化した専門学会として我が国を代表する組織へと円滑に移行、そして発展できるよう最大限尽力させていただく所存です。会員の皆様におかれましては何卒ご指導を賜りますよう、宜しく申し上げます。

眞島 任史

日本医科大学大学院医学研究科
整形外科学分野



この度日本膝関節学会の理事を拝命いたしました日本医科大学の眞島任史と申します。今回理事に選出いただき大変光栄に存じますと同時に、身の引き締まる思いがいたします。本学会は1975年に発足した日本膝関節研究会が2000年に日本膝学会となり、2009年 JOSKAS に統合され、2023年日本膝関節学会として再び設立されました。私自身も1986年から日本膝関節研究会に出席させていただいていた経験を踏まえ、黒田理事長のリーダーシップのもと、理事の先生方と協力して、今後我が国の膝関節外科がさらに大きな飛躍を遂げ、次世代を担う若手の先生が国内はもちろん国際的に活躍できるよう微力ながら尽力してまいります。どうか皆様の暖かいご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

監事

石橋 恭之

弘前大学大学院医学研究科
整形外科



この度、日本膝関節学会 (JKS) の監事を仰せつかりました弘前大学の石橋です。JOSKAS 監事からの引き継ぎの就任となりますが、大変光栄に存じますと同時に、身の引き締まる思いがいたしております。ご存じのように、JKS は JOSKAS と JOSSM の発展的合併により、昨年発足し再出発いたしました。第1回学術集會会長である岡崎賢先生のお言葉をお借りすると Reborn ということになりますが、その第一回目の学会は大成功だったと思います。今後は黒田良祐 理事長のかじ取りの元、この新しい学会が未来に向かって進んでいく事となりますが、次世代を担う若い先生方が活躍でき、JOSKAS のように国際的にも発展していくよう、監事として微力ながらサポートしていきたいと考えております。会員の皆様方におかれましてはこれまで同様、ご指導、ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

中田 研

大阪大学大学院 医学系研究科
スポーツ医学



この度、本学会が2023年6月に新たに発足し、その最初の役員の監事を拝命いたしました。本会のもとなった JOSKAS の第1回学術集會から関わらせていただき、監事をへて様々な活動、議論のもと、膝関節疾患の研究の発展のために本学会が設立されました。ヒトが二本足歩行を始めて以来、上肢機能、脳機能の発達により人類が進化を遂げて長寿社会を築いてきた一方で、膝関節への負荷の増大により膝関節疾患から mobility の低下をきたし、現代社会の大きな課題となっています。膝関節疾患の発症、病態理解から、診断、治療、予防に向けた新しい研究手法の開発、普及、本研究分野の進歩にむけて、皆様とともに本学会の発展に努めさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今後の学術集会

第2回 日本膝関節学会

会期：2024年12月6日(金)～7日(土)

会場：沖縄コンベンションセンター

会長：眞島 任史(日本医科大学整形外科学教室 主任教授)

テーマ：Leap Forward

URL：<https://site.convention.co.jp/2jks/>

演題募集締切：2024年6月3日(月)正午 予定

※詳細は学術集会HPをご確認ください。

右記QRコードからアクセスいただけます。

※筆頭演者・共同演者ともに、日本膝関節学会の会員資格が必要となります。



新生第1回膝関節学会のrebornを受け、世界に羽ばたく膝関節学会の発展を目指して、久々の沖縄での開催です。

ぜひ皆様のご参加お待ちしております。

第2回
日本膝関節学会
Leap Forward
Knee Surgeons!
Let's be ambitious!!
2024年12月6日(金)・7日(土)
会場 沖縄コンベンションセンター
会長 眞島 任史(日本医科大学整形外科学教室 主任教授)
日本医科大学整形外科学教室
日本コンベンションサービス株式会社
<https://site.convention.co.jp/2jks/>

海外学会情報

2024 ISAKOS Knee Arthroplasty Forum

会期：2024年10月31日(木)～11月1日(金)

会場：ウェスティン都ホテル京都

会長：松田 秀一(京都大学医学研究科 教授)

Sebastien Lustig MD, PhD, Prof.

URL：<https://www.isakos.com/Knee-Arthroplasty-Japan-Oct24>

この度、ISAKOS Knee Arthroplasty ForumのProgram Directorを務めることになりました京都大学の松田です。ISAKOSによるKnee Arthroplasty Forumは2022年に南米のチリで開催されており、今回で2回目の開催となります。海外から16名、日本から10名の講師をお招きし、ビデオレクチャー、debate(日本人講師も参加)、case-discussionなど多彩なプログラムとなっています。テーマはアライメントや靭帯バランスなど日本人が得意な分野から、ロボット支援手術、感染や再置換など海外の豊富な経験を中心としたものもあり、TKAだけではなく、UKAやPFAも含む構成となっています。

レジストレーションは上記websiteから行うことができ、5/31までearly registrationの割引があります。日本膝関節学会会員には50ドル分の割引も設定されている他、専攻医への割引もあります。

多くのことを学ぶことができ、海外の著名な医師との交流も深めることができる有意義な会になると思います。是非多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ISAKOS KNEE ARTHROPLASTY FORUM
KYOTO, JAPAN
2024
OCTOBER 31 - NOVEMBER 1
Join Us
As the world's only truly global knee society, ISAKOS is proud to once again host an international meeting dedicated entirely to Knee Arthroplasty.
Through symposia, debates, surgical demonstrations and interactive case-based discussion, world renowned experts will offer insights into clinical challenges and research advancements.
Featuring an Innovative and Interactive Meeting Format
• Controversial Topics
• New Technology
• Debates
• Consensus
Forum Directors
Sebastien Lustig, MD, PhD, Prof. FRANCE
Shuichi Matsuda, MD, PhD JAPAN
Cutting-edge, international knowledge you can take home!
<https://www.isakos.com/kyoto24>

JKS 国内フェロースhip募集のご案内

このたび教育研修委員会では、若手会員の技術向上と会員相互の親睦を目的に「JKS フェロースhip」制度を設けることとなりました。

本フェロースhipでは、JKSに所属する35歳以下の若手を対象に公募し、書類審査を経てフェローを決定いたします。フェローに対しては学会から援助金を支給し、国内の施設を1~2カ所、1~2週間程度で見学いただきます。

JKS フェロースhip募集概要

- 募集人数：5名
- 応募資格：35歳以下（2024年5月31日時点）のJKS正会員
- 募集期限：2024年5月31日（金）



応募要項や訪問施設一覧など、詳細はJKSホームページの『ニュース&トピックス』をご参照ください。皆様からのご応募をお待ちいたしております。

事務局からのお知らせ

1. 年会費について

2023年度（2023年10月~2024年9月）の会費払込用紙を、2024年4月に発送いたしました。期日までにお手続きいただきますようお願いいたします。また払込用紙が届いていない場合は事務局へお問い合わせください。

なお払込用紙を利用せず銀行振込をご希望の場合は、学会ホームページに記載の口座までお振込みをお願いいたします。

2. 会員登録情報の変更・登録について

勤務先、自宅、メールアドレス等の変更や追加がありました際は、学会ホームページの「マイページ」にて登録情報をご確認のうえ、適宜、ご変更・ご登録をお願いいたします。

マイページのログインIDとパスワードは、2024年2月頃に郵送しております。パスワードを失念された場合はシステムからお問い合わせください。不達、紛失などにより、IDとパスワードが不明の場合は、ご自身の氏名・生年月日を添えて学会事務局（info@knees.or.jp）までご連絡ください。

編集後記

昨年に設立されました日本膝関節学会のニュースレター第1号を今回発行させていただき運びとなりました。本号ではまず黒田理事長より本学会設立に至るまでの前身組織を含む50年に及ぶ歴史をご紹介いただき、さらに今後の学会発展のためのさまざまな取り組みを御披露頂きました。また、メインとなる記事として岡崎会長はじめ東京女子医大整形外科科学教室の皆様から、第1回学術集会の概要を学会運営の裏話も交えご報告いただきました。久しぶりの実地開催となった本会の熱気を思い起こされる充実した内容で、会員の皆さまにも楽しんでいただけたらと思います。本号では、あと、

各種学会賞受賞報告、新任理事、監事挨拶など報告内容が紙面を埋めておりますが、今後は会員の皆様に有用な情報を盛り込み、バラエティーに富んだ内容となるよう委員会一同で頑張ってお参ります。今後のニュースレターにご期待ください。

中村 憲正
大阪保健医療大学



JKS ニュースレター No.1 2024年4月30日発行

編集：日本膝関節学会 広報・ニュースレター委員会

（担当理事）中村憲正、（委員長）井上雅之

（委員）赤木龍一郎、荻内隆司、落合聡司、熊橋伸之、佐藤卓、中山寛、前達雄、松下雄彦

発行：一般社団法人 日本膝関節学会

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング株式会社コングレ内

TEL 03-3510-3746 FAX 03-3510-3748 E-mail info@knees.or.jp URL <https://www.knees.or.jp/>